

本講義資料のご利用にあたって

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

著作権が東京大学の教員等に帰属する著作物については、非営利かつ教育的な目的に限り再利用することができます。

ご利用にあたっては、以下のクレジットを明記してください。

UTokyo Online Education 学術フロンティア講義 2021 ミハエル・ハチウス



Wikipedia



「知」の歴史から見た 学問の「悪」

学術フロンティア講義
30年後の世界へー学問とその“悪”について
2021年6月4日

東京大学国際高等研究所東京カレッジ准教授
ハチウス・ミハエル

自己紹介



- ボン大学言語学・日本文化学修士課程卒業
- ベルリン自由大学日本史・グローバルヒストリー博士学位取得
- ベルリン自由大学グローバル・インテレクチュアル・ヒストリー（世界思想史）学院経営主任
- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）トランスナショナル・ヒストリー研究所NIF研究員
- 東京大学東京カレッジ特任助教→准教授

自己紹介



研究分野

- 世界史からみた近世・近代日本文化史
- 日中関係史
- 「知」の歴史
- 翻訳史・翻訳研究

著書

『中国の「翻訳」——19世紀日本における中国の知とグローバル化』2017年（ドイツ語）

概要

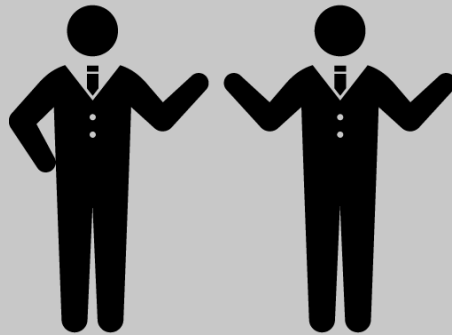
1. 「知」の歴史とは
2. 学問と道徳の関係をめぐって
3. 学者の善行と悪行：「実学」を中心に
4. 結び

Wikipedia



1. 「知」の歴史とは

「知」の歴史から見た学問の「悪」 | ハチウス | 21年6月4日



©ヒューマンピクトグラム2.0

- 「知」の歴史という言葉を知っていますか？
- そもそも知識とは何か？

→チャットで定義などを書いてみてください！

セクション

概要

知識の二つの定義

「知」の歴史とは

知識史の定義

知識史の問題意識

知識史と関連分野

知識の二つ の定義

「正当化された真なる信念」（ソクラテス）

「特定分野または一般に知られていること。
事実と情報」（オックスフォード英語辞典）

→ 個人の頭の中（認識）の作用

→ 抽象的な現象

知の歴史 とは

- 15年前ぐらいから発達してきた分野
- ラベルは主にヨーロッパで使われている
 (“history of knowledge”,
 “Wissensgeschichte”)
- 抽象的な概念より「動いて触れるもの」

知識史の 定義

Philip Sarasin, “Was ist Wissensgeschichte?,” *Internationales Archiv für Sozialgeschichte der deutschen Literatur* 36, 1 (2011): 159–172.

「知識史は基本的に「知識の社会的生産と流通」を対象とする。」(サラシン 2011年)

- 社会的
- 生産課程
- 流通
- 歴史的な現象

知識史の 問題意識

正しいや「真なる」？いいか悪い？有用か無用？というより

- ある知識がいつ、どうやって、そしてなぜ現れて認められて、そして消えるのか？
- その知識にはどんな作用と効果があるのか？
- どんな文脈で機能しているのか？
- その媒体と担い手とは？
- どんな「形」であらわれる？

知識史の 源流と 関連分野

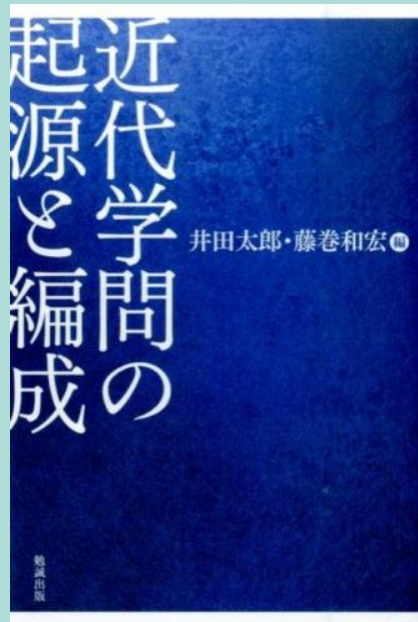
- 新科学史
- STS(科学・技術研究)
- 思想史
- 教育（社会）史
- 大学史
- 各分野の歴史
- 書物史
- 言説論・言説史
- 文化史
- 人文学の歴史

研究例



- 岩波講座「帝国」日本の学知（全6巻）
（2006年）
- 「帝国」編成の系譜
- メディアのなかの「帝国」
- 地域研究としてのアジア
- 「帝国」の経済学
- 東洋学の磁場…

研究例



- 井田太郎・藤巻和宏編『近代学問の起源と編成』勉誠出版、2014年

研究例

- Rens Bod 2013, *A New History of the Humanities. The Search for Principles and Patterns from the Antiquity to the Present* (Oxford: Oxford University Press, 2013).

研究例

- Robert Proctor and Londa Schiebinger, eds., *Agnotology. The Making & Unmaking of Ignorance* (Stanford: Stanford University Press, 2008).

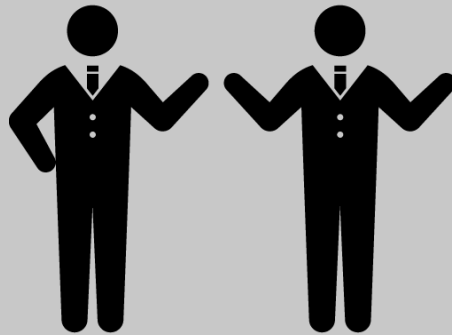
Wikipedia



2. 学問と道徳の関 係をめぐって

「知」の歴史から見た学問の「悪」 | ハチウス | 21年6月4日

現代社会の（科学的）知識観を考えてみてください。知識と「道徳」とは、一般的にどんな関係があるとされているのでしょうか。



©ヒューマンピクトグラム2.0

セクション

概要

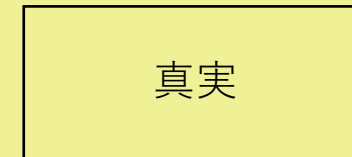
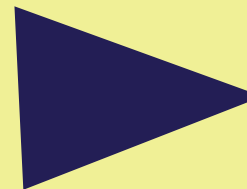
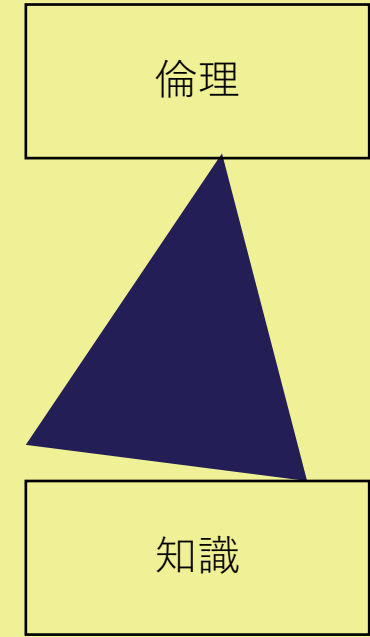
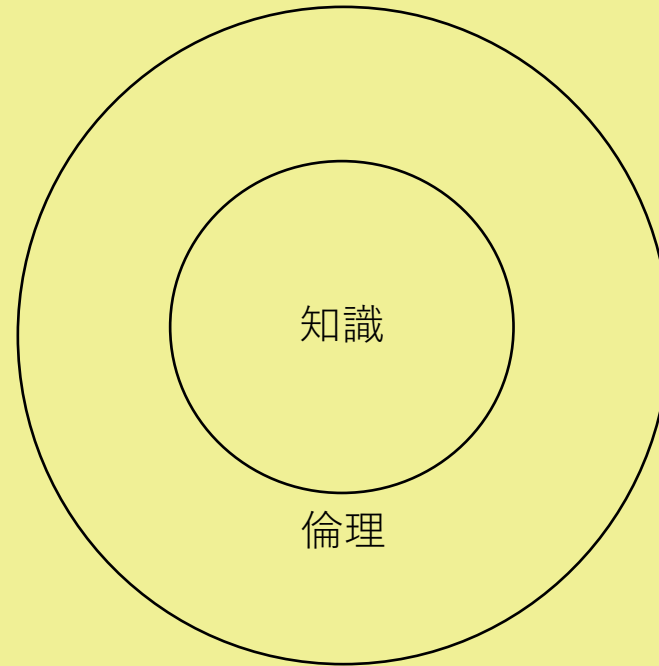
- 近代の知識観
- 「非近代」の知識観
- 日本の近代化と知徳関係
- 儒学の知識観

- 横井小楠
- 元田永孚
- 重野安繹

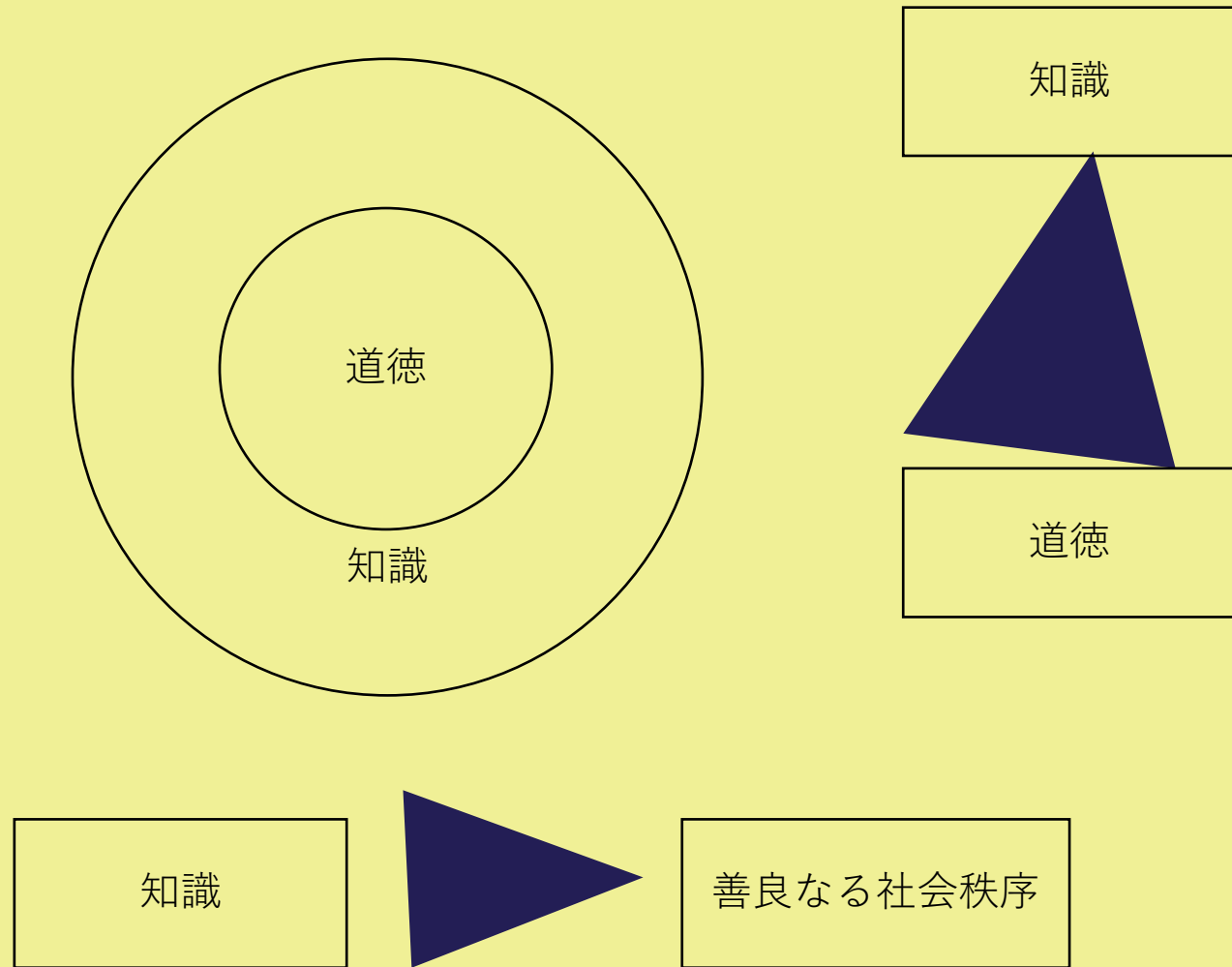
知識史から の問いかけ

- 歴史の中で「知識」と「道徳」の関係はどう考えられ、どう維持され、どう変化してきたのか

「近代」の 知識観



「非近代
的」な知識
観



日本史から
の一例

智慧

仏教の 知識観

- 慧： prajñā （音訳：般若）
 - 般若波羅蜜多（最高の智慧）
 - 六波羅蜜（徳目）のひとつ（布施、持戒、忍辱、精進、禪定、般若）
 - 目的：成仏
- 智： jñāna （音訳：若那）
 - 手段：現象を正しく理解し、区別できること（悟りに導く限りで重要視）

日本の近代化 と知徳関係

Albert Craig, "Science and Confucianism in Tokugawa Japan," in *Changing Japanese Attitudes toward Modernization*, ed. by Marius B. Jansen (Princeton: Princeton University Press, 1965), 133–160.

知識と道徳の区別は近代化の大前提としてみなされた：

「近代社会では道徳と知識は全く別物です。」（クレイグ 1965）

（"In a modern society virtue is one thing and knowledge is something else."）

→ 丸山眞男の日本の「近代化」批判も（『日本政治思想史研究』改訂版、東京大学出版会、1983年）

儒学の
知識観

大学

『大学』

Web漢文大系『大学』経一章
<https://kanbun.info/keibu/daigaku01kei.html#section01>

大學之道、在明明德、在親民、
 在止於至善。

古之欲明明德於天下者、先治其
 國。

欲治其國者、先齊其家。

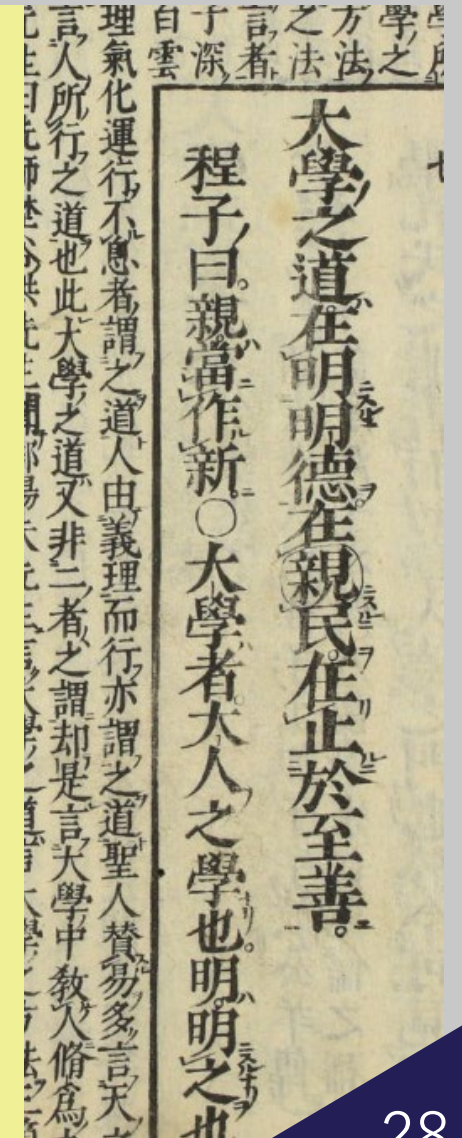
欲齊其家者、先脩其身。

欲脩其身者、先正其心。

欲正其心者、先誠其意。

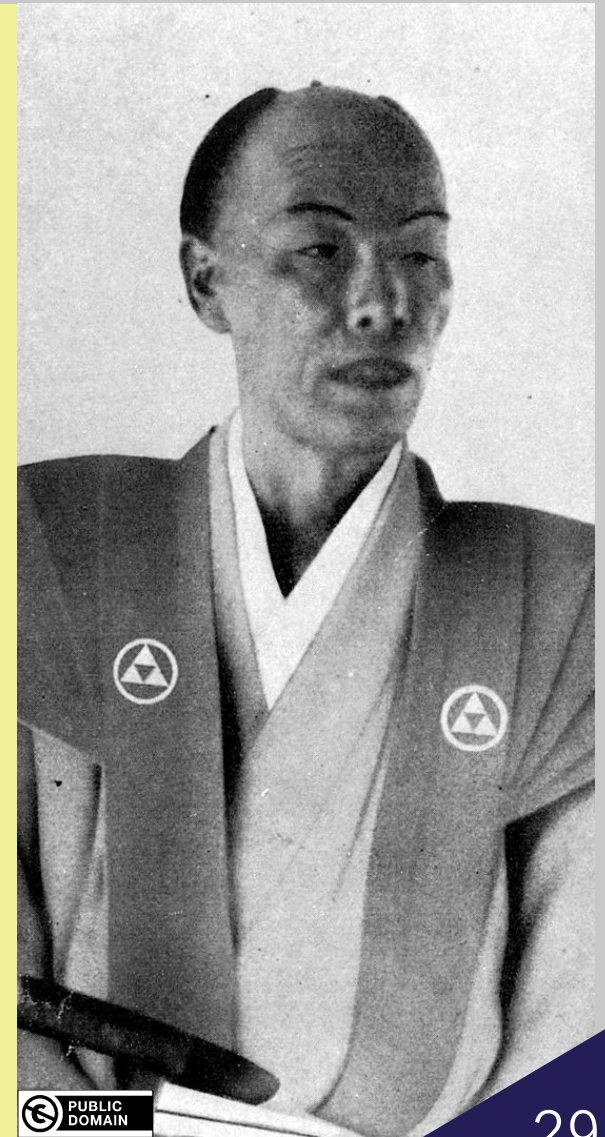
欲誠其意者、先致其知。

致知在格物。



横井小楠

- 1809年～1869年（熊本生）
- 武士・儒学者
- 熊本藩校に入校、1837年に塾長となる
- 1841年「実学党」を組む
- 1843年に私塾「小楠堂」を開く
- 1857年からくりかえし福井藩の藩校に出仕
- 1867年に新政府に登用される
- 1869年に攘夷派の志士に暗殺される



Wikipedia

横井小楠の 西洋批判

横井小楠『沼山閑話』

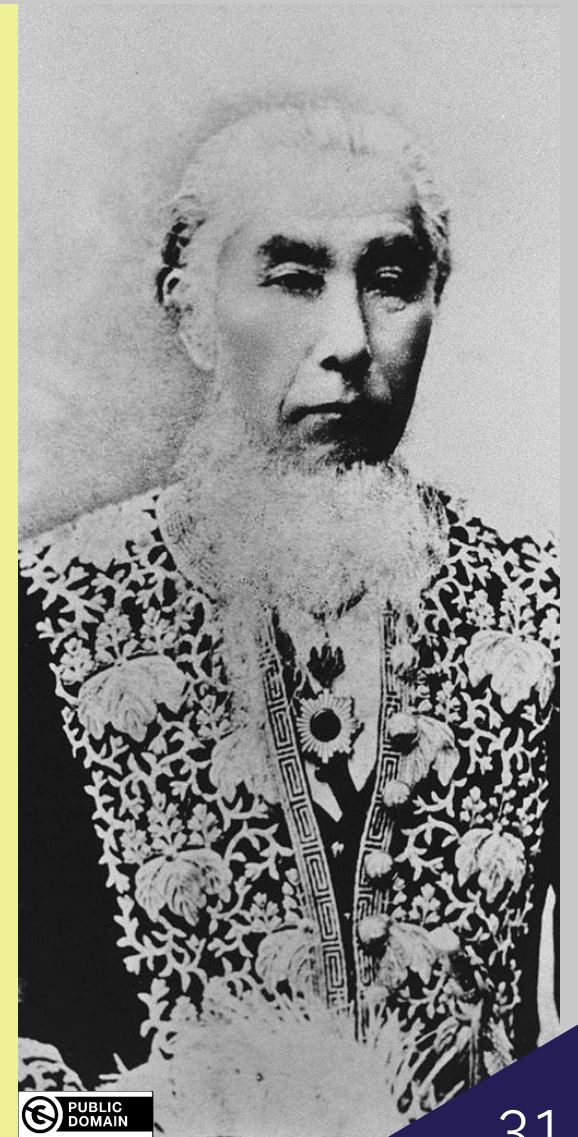
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/993>

507

其心徳の学無き故に人情に亘る事を知らず、交易談判も事実約束を詰るまでにて其詰る処ついに戦争となる。戦争となりても事実を詰めて又償金和好となる。人情を知らば戦争も停む可き道あるべし。華盛頓一人は此処に見識ありと見えたり。事実の学にて心徳の学なくしては西洋列国戦争の止む可き日なし。心徳の学ありて人情を知らば当世に到りては戦争は止む可なり。

元田永孚

- 1818年～1891年
- 熊本藩士、儒学者
- 時習館で学ぶ
- 1861年越前藩主の側近になり、江戸幕府の改革に取り組む
- 維新後私塾を開く
- 1871年明治天皇の侍読



 PUBLIC DOMAIN

Wikipedia

元田永孚の 近代教育批判

元田永孚『元田先生進講録』
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1055224>

古来より之（「学」）を弁ずれば、彼の管晏の覇術を始め、種々の異端、俗儒、訓詁文詞の学、仏法、耶蘇教、西洋百科の学、皆な一遍一派の学にして、孔子の所謂学に非ず。[…]
孔子の学は我徳性を尽し、真理に達し、天下に大道を行ふの学なる […]

元田永孚の 近代教育批判

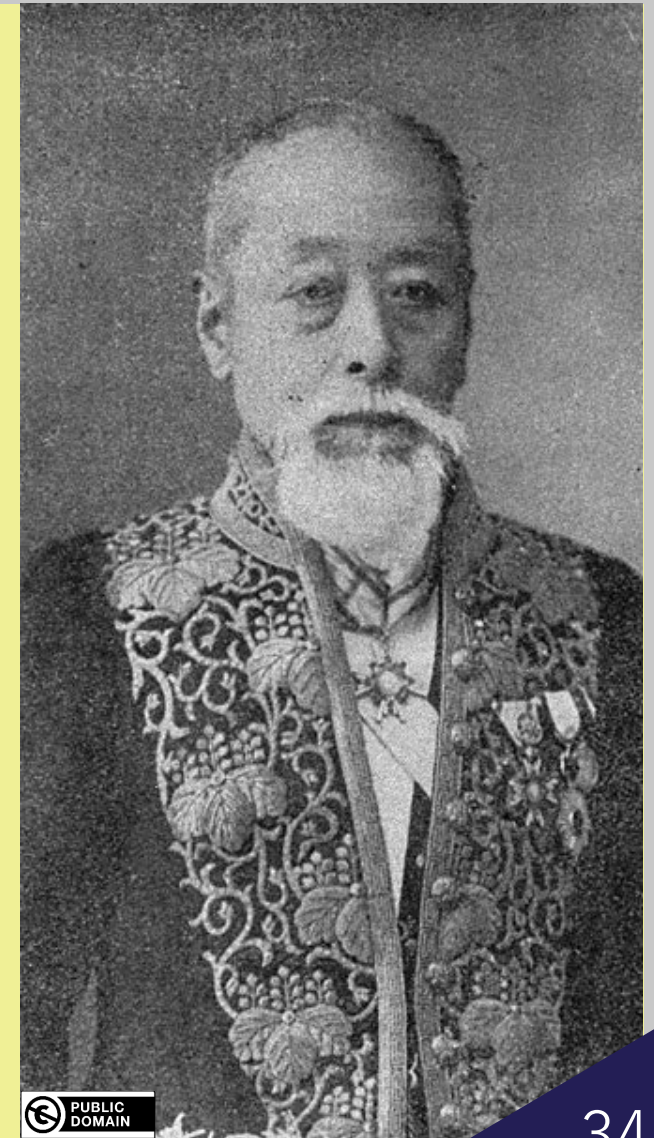
元田永孚『元田先生進講録』
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1055224>

現今西洋諸国の自ら文明国と誇るも、其実は心術正しからず、風俗善良ならず、利を貪り、力を争ひ、其害一にして足らず、学芸は益々開明して、人心は益々狭黠なる者、皆学路中正ならざるの致す所、其大害を見るべきなり。今日苟も学を為す、始めに先づ其取捨先後を審にせざる可からず。況や人君の学、其学ぶ所、即ち天下の法則となる故に、人君の学は、孔子の学を学ぶより外なし。

重野安繹

- 1827年～1910年
- 薩摩藩鹿児島生まれ
- 漢学者・歴史家
- 「日本歴史研究の泰斗」

- 1839年藩校に入学
- 1848年江戸の昌平黌で学ぶ
- 1864年造士館主任
- 1875年太政官修史局主宰
- 1888年帝国大学文科大学教授
- 「史学会」初代会長

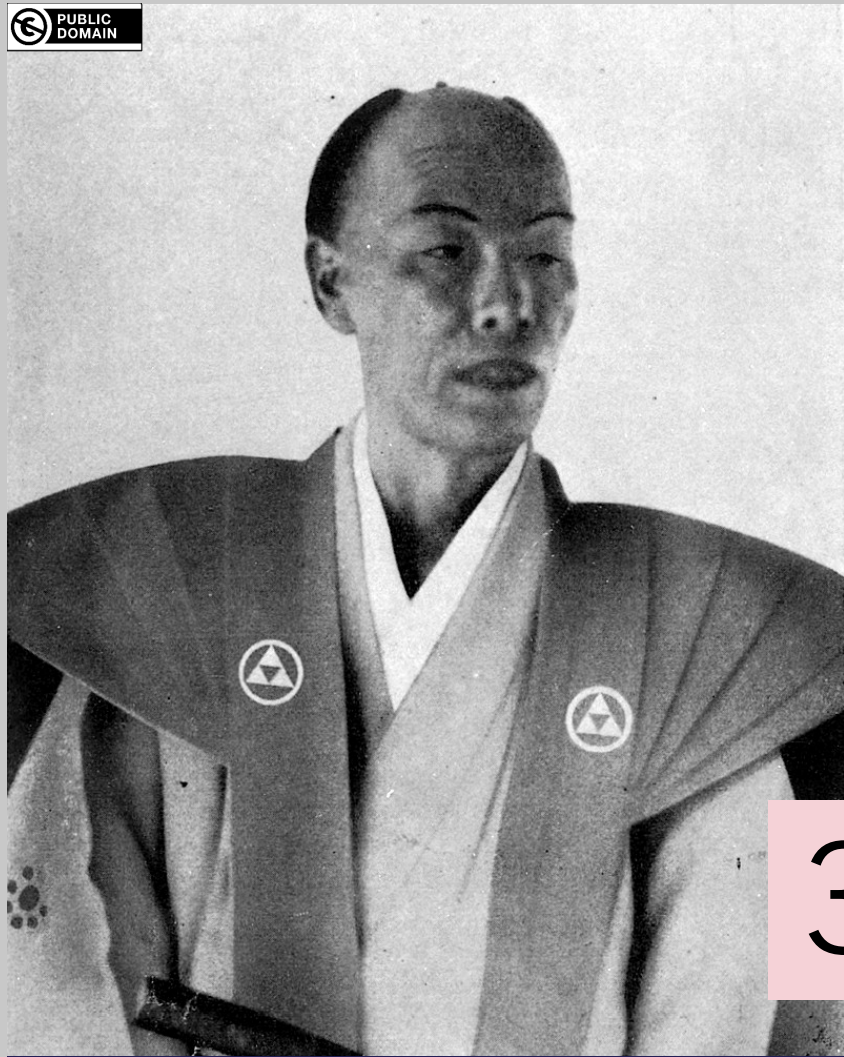


重野安繹の 知識観

重野安繹『史学に従事する者は其心至
公至平ならざるべからず』（1889年）

歴史は時世の有様を写し出すものにして、其有様に就き考察を加へ、事理を証明するこそ、史学の要旨ならん。然るに歴史は名教を主とすと云ふ説ありて、筆を執る者、動もすれば其方に引付けて、事実を枉ぐる事あり。[…]
実事実理を枉ぐるに至るは、世の有様を写す歴史の本義に背けり。唯其實際を伝へて、自然世の勸懲ともなり、名教の資となる。是即所謂公平の見、公平の筆なり。

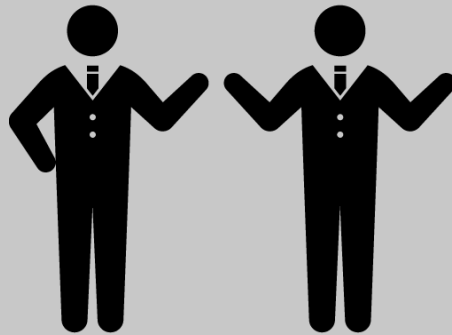
Wikipedia



3. 「実学」

「知」の歴史から見た学問の「悪」 | ハチウス | 21年6月4日

- 「実学」を聞きますとどんな学問を連想しますか。



©ヒューマンピクトグラム2.0

このセクション
の概要

- 学問の善徳
- 「実学」という言葉
- 実学と国益
- 実学と文明開化

学問の善徳

Jeroen van Dongen and Herman Paul,
eds., *Epistemic Virtues in the
Sciences and the Humanities* (Cham:
Springer, 2017).

- 知識史に近年活躍する概念「virtue/vice」
- “Epistemic virtue”, “scholarly virtue”

• 「学問の美德」 「学者の善行」 など

→ 「善い」 学問を行うために必要な個人の性格、態度、能力など

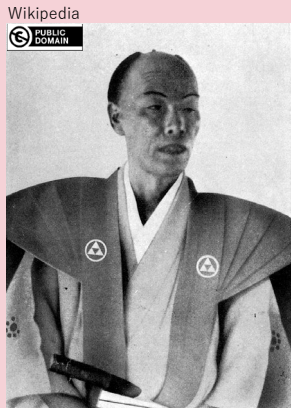
→ 「善い」 学問の特徴

実学という
言葉

実学
VS.
虚学

もともと儒学の用語：修身につながる学びが「実学」

江戸後期に なると…



- 経学や古文辞学に対する批判
- 背景：江戸後期の藩政問題：財政難など
- 藩政改革に活かせる学問
- 各藩が藩校を設立する
- 目的：「国益」 ↔ 「経済」
- 横井小楠が「実学党」をくむなど

「学政一致」論

横井小楠『学校問答書』（1852年）

佐藤昌介・植手通有・山口宗之編『渡辺華山・高野長英・佐久間象山・横井小楠・橋本左内』（日本思想大系55）、岩波書店、1971年、429頁

（問）然ば学政一致の心は非なることに候哉。

（答）秦・漢以来此道明なり不レ申。天下古今、賢知も愚夫も押ならし心得候は、学問と申は脩レ己の事のみにて、書を読み其義を講じ、篤実謹行にして心を世事に留めず、独り自脩養するを以て真の儒者と称し、経を講じ史を談じ文詩に達する人を学者と唱申候。扱又才識器量有之、人情に達し世務に通じ候人を経済有用の人才と云ひ、簿書に習熟し貨財に通じ巧者にて文筆達者なるを能き役人と心得候。是学者は経済の用に達せず、経済者は脩身の本を失ひ、本末体用相兼ること不レ能候。漢の宣帝之漢家自王覇を雑へ用るの説も、其世の儒者体ありて用無きより政事は覇者功利の人被レ用候。今日の人心誰に承り

明治維新後 の「実学」 観

- 幕末から西洋の軍事技術を習得するのが実学視される
- 例えば、昌平坂学問所で「書物読二実用少」く、「蘭学之軍学砲術を第一二し」ないといけない

明治維新後 の「実学」 観

- 維新直後の公議所における「カリキュラム改革」論
- 「漢学」全般が無用の学として非難される

例えば「対策には漢文を用いずにして、実地適用を心掛け可申候。」

明治維新後 の「実学」 観

依田百川『洋学の疑』（1875年）
羽賀祥二監修『洋々社談 第三巻』
ゆまに書房、2007年

- 知識と道德の間に間隔があくにつれて「実学」が応用可能な科学に偏る

例えば依田百川の批判：

「大声疾呼シ文明開化ヲ説クトモ実物実理に疎」

事律法經濟等ノ學ノ田キハ其學ヲ所育理論ヲ
シ爲ス能ハサル者ナク爲シテ効アラサル無キヲ以テ若シ徒ニ其皮
毛ヲ飾リ其腦髓ヲ得ル能ハス大聲疾呼シ文明開化ヲ説トモ實物實理
ニ疎爾ナラハ彼迂腐無用ノ漢學ト何ソ別タンヤ當今外國ニ倣フテ盛
ニ開治ヲ資クル者何ソヤ諸般ノ學科ナリ諸般ノ巧藝ナリ蓋シ修身政

Wikipedia



4. 結び

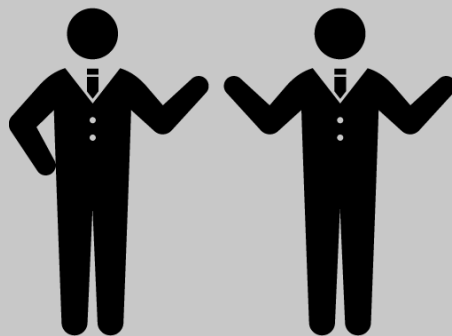
「知」の歴史から見た学問の「悪」 | ハチウス | 21年6月4日

要約

- 知識史は学問を始めに、知識を「動く触れるもの」として据える
- 日本史を例にしながら、学問の「善」と「悪」、つまり学問と道德の関係を考えてみた
- 近代化の過程を経て、知識と道德は分別された
- そのプロセスを理解するために重要な言葉「実学」

結び

- 「近代知識」の批判が盛んにおこなわれる現代
- 「前近代」という立場にいた幕末の知識人の近代批判によって西洋発のグローバル知識体制の限界を考えることができるのでは
- 現代の人文学批判の由来…
- 学術知識と「善良なる社会秩序」のこれからの関係は？



©ヒューマンピクトグラム2.0

どうもありがとうございました。